

モヤモヤ対話へようこそ

～対話が拓くケアの将来と可能性～

現場の困難を解きほぐす

モヤが晴れたその先に

明日への活力に



■日時：令和6年12月23日（月）13時30分～16時50分
（受付13時00分～）

■会場：県社会福祉センター別館会議室（鹿児島市鴨池新町1番7号）

■定員：70名（※先着順）

■申込方法：裏面をご確認下さい

■内容：ワークショップ

■講師：竹端 寛 氏

（兵庫県立大学 環境人間学部教授）

1975年、京都市生まれ。大阪大学人間科学部、同大学院修了。博士（人間科学）。専門は福祉社会学、社会福祉学。山梨学院大学法学部教授等を経て、2024年から現職。オープンダイアログの学びを深めるなかで、研修の場をどのように変えていけるか、を重視している。

著書に『ケアしケアされ、生きていく』（ちくまプリマー新書）、『家族は他人、じゃあどうする？—子育ては親の育ち直し』（現代書館）等。

7歳の娘と一緒に合気道の稽古に通うのが日々の楽しみ。

参加費無料



私たち援助者は、クライアントのより良い生活や生き方を支えることを目指し、日々、目の前のひとりの人（〇〇さん）に関わっています。しかし、実際の援助実践では、うまくいかないこと、どうしていいか分からなくなる、自分の仕事の意味が分からなくなるなど、援助する者として葛藤や戸惑い、悩み、苦しみを抱えてしまうこともあるのではないのでしょうか？私たち援助者が深刻に悩み、苦しんでいる渦中では、クライアントへの援助が難しくなることもあるのではないのでしょうか？私たちの言葉にならないモヤモヤや苦悩に蓋をして、何とかクライアントに向き合おうとしていないのでしょうか？そのような困難な状況に陥っている時こそ、少し立ち止まり、自分のモヤモヤや苦悩を語り、誰かに聴いてもらうことで、自分の在り様を振り返れる、原点に立ち戻れる、新たな気づきや視点を得ることができるのではないのでしょうか。

今回のセミナーでは、私たち援助者が日々の現場で抱えるモヤモヤや苦悩を起点に講師との対話から問い（テーマ）を立て、グループディスカッション、全体ディスカッション、講師からの問いかけやフィードバック、レクチャーを重ね合わせながら、参加者と一緒に問いを深めていく対話を大切にしたワークショップを企画しました。皆さんと一緒に考え合い、語り合うことを通じて、あらためて、「ケア」「援助」「ソーシャルワーク」の面白さ、魅力、可能性を再確認できる対話的で創造的な学びの場をめざします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■申込方法：下記のURLまたは右下のQRコードからお申込みください

URL：<https://x.gd/zPJpj>



■申込締め切り：令和6年12月13日（金）

※申込は先着順とさせていただきます、定員になり次第締め切ります。

※定員を超えた場合のみご連絡いたします。申込された方は当日直接会場へお越しください。

※申込フォームにご記入いただいた個人情報は本セミナーのみに使用し、第三者へ提供することはありません。

※当日の会場駐車場の数には限りがあります。公共交通機関か周辺のコインパーキング等をご利用ください。

■お問合せ先：鹿児島県地域生活定着支援センター

TEL：099-213-5622

E-mail：teichakuk1@po.minc.ne.jp

主催：鹿児島県 / 公益社団法人鹿児島県社会福祉士会 鹿児島県地域生活定着支援センター

後援：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会